

地域学校協働本部からのお知らせ

4月のおび・むすび

申問 小平小学校教頭 ☎ 56-2822 / 教育委員会社会教育課 ☎ 56-9500

昨年度は、多くの地域の皆さま、保護者の皆さまに学校支援ボランティアとして温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちの学びや学校活動がより豊かなものになったのは、皆様のお力添えのおかげです。

今年度も、「学校支援ボランティア（通称「おび・むすび」）」として活動に参加していただける方を募集しています。地域の方、保護者の方など、学校のお手伝いにご協力いただける皆さまは大歓迎です。活動内容や募集情報については、社教だよりにて随時発信してまいります。

ご協力いただける方、興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にご連絡ください。皆さまの参加を心よりお待ちしております。

◎令和7年度にご協力いただいた内容

- ・グラウンドの除草 ・図書室や本の整理、飾りつけ ・本の読み聞かせ ・水泳指導
- ・硬筆・毛筆の書写指導 ・ソフトバレーボールの指導 ・太鼓の指導 ・ミシンのサポート
- ・小平町の昔の様子、お祭りについての講話 ・スキー指導、サポート ・児童の提案や質問についての回答

4月のおたすけ鬼鹿小

申問 鬼鹿小学校教頭 ☎ 57-1160 / 教育委員会社会教育課 ☎ 56-9500

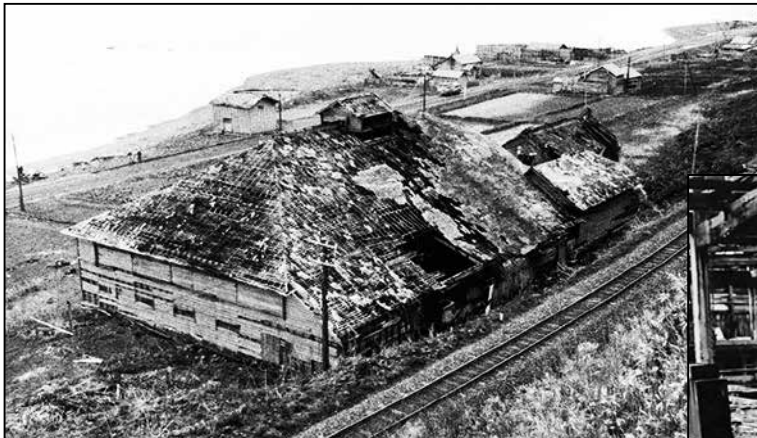
令和8年度、鬼鹿小学校最後の1年がスタートします。今後も鬼鹿小学校の学習ボランティア「おたすけ鬼鹿小(通称:たすけ鬼)」にご理解とご協力をお願いいたします。

○4月7日(火)に始業式、8日(水)に入学式があり、ピカピカの1年生4名が入学します。4月7日(火)～14日(火)まで、担当の保護者と教職員で登校時の交通安全指導を旧鬼鹿幼稚園前の横断歩道で行います。それ以外の場所でも、児童が登校しますので、学校付近の横断歩道等で交通安全の見守りをしていただきたいです。

※お手伝いいただける方、興味のある方は、ぜひ学校までご連絡ください。皆様のご理解とご協力をよろしく願いいたします。

小平郷土資料通信 4月号

～旧花田家番屋、大梁が折れた②～



文化財調査時(重要文化財指定前)の番屋の状況
(上:屋外の様子、右:漁夫居間の様子)

旧花田家番屋の親方 花田伝作家は、小樽に居を構え、漁期になると鬼鹿に来るいわゆる「通いの親方」でした。しかし、いつのころからか、鬼鹿の番屋に住まうようになり、鯨の群来がなくなり鯨漁が衰えると、これだけ大きな番屋はもてあまされます。これまで大工や屋根職人など多くの職人が手入れしていた建物だったので、手入れする人もいなくなり荒れ放題に。この頃には大梁も腐朽菌に侵されていたものと推測されます。

1970年代の文化財調査によって記録された番屋の様子は、屋根は落ち、床板もなく、土間には小川が流れていたといいます。この頃、番屋を調査した北海道大学名誉教授 角幸博氏は旧花田家番屋の復元された現在から当時を回想し「よくぞここまで見事に復原されたと思う。荒廃した姿と現在の見事な姿とのギャップを見てきた私には、道内各地の荒廃したどの歴史的建造物も、花田に比べれば軽傷で、蘇生の可能性は大きいと力説できるすばらしい経験を与えられた。」(「鯨 失われた群来の記録 (高橋 明雄:著、北海道新聞社:1999年出版)」内収録の 角幸博「花田家番屋をめぐる」より引用)と語っておられます。